

がん予防のススメ Vol.90

食べる楽しみを大切に



徳島大学病院
消化器・移植外科 講師

たかすちえ
高須 千絵氏

定期的ながん検診を受けていないと、早期に発見する機会を逸してしまいます。早期の段階ではほとんど自覚症状がないことを知っていたら、健康な人こそ定期的に検診を受けて頂きたいと思います。胃がんは早期に発見し治療すれば、5年生存率が95%以上である(ステージ1の場合)にも関わらず、日本年間約5万人が亡くなっています。また胃がんの手術後は食事が減るなど、食についての悩みが増えます。おいしく食事を食べる楽しみを少しでも増やすため、徳島大学病院では胃を残す手術や機能温存手術に積極的に取り組んでおり、全ての術式をロボットを用いた低侵襲手術で行っています。ぜひ定期的に検診を受けていただき、手術が必要になった場合にはご相談ください。



徳島大学病院 がん相談支援センター

がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター

<https://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター

<https://www.toku-gantaisaku.jp>